

令和6年度 シラバス 【書道Ⅰ】

11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択必修	2	6	8	0
教科書			学習書・その他教材	
書道Ⅰ（東京書籍）			学習書：書道Ⅰ（NHK 出版）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

- 書道を通して、生涯にわたり書を楽しむ心情を育てる。
- 表現と鑑賞の基礎能力を伸ばし、感性を高めるとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習内容

- （1）漢字の書 楷書『九成宮醴泉銘』『孔子廟堂碑』の臨書・・・（第1回レポート）
- （2）漢字の書 楷書『雁塔聖教序』『自書告身』の臨書・・・（第2回レポート）
- （3）行書の書 行書『蘭亭序』『争坐位文稿』の臨書・・・（第3回レポート）
- （4）漢字仮名交じりの学習・篆刻と落款・・・（第4回レポート）
- （5）仮名の書（1）・・・（第5回レポート）
- （6）仮名の書（2）・・・（第6回レポート）

学習方法

【スクーリング】

かならずレポート・教科書・学習書を持参してください。

課題の確認・解説・指導を行います。筆記課題を終わらせてからスクーリングに出席しましょう。

各レポート締切日の前に2回のスクーリングがあります。1回目、2回目ともに実技指導を重点的に行います。スクーリングに毎回出席することで、レポート課題がおおむね完成するようになっています。

※第3回・第6回レポートは締め切り後に2回目のスクーリングがあるので要注意

【レポート作成】

- ①筆記課題…問題文をよく読み、空欄が無いようにすべてに解答・記入してください。
- ②実技課題…課題ごとに異なる表現技法を理解し、出来るようになるまで繰り返し練習しましょう。

評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めている。伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考えたりし、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現および鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・ 定期試験の分析 ・ レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
中学校までの整った文字を書くことを目的とした書写から発展し、時代や筆者によって異なる個性的な古典から多様な表現を学んでいきます。そして、それを自分自身の表現に生かす力を身につけることを目的として書道を学習します。レポートは第一回から順番に進めていくとスムーズに学習できます。課題を溜めることなく、学習のスタートに出遅れないようにしましょう。